



2019年7月7日の合同支部総登山会の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

### ① 講中のみなさまへ

仏法では、私たちの心に妙法を知らしめることを「下種(げしゅ)」といい、日蓮大聖人は「法華経は種の如く、仏はうえて(植手)の如く、衆生は田の如くなり」(御書1040頁)と仰せです。私たちには、妙法という仏種を成長させる尊い「稲田」があります。その心田に妙法を植ゆるには「信の一字」が不可欠です。久遠本因妙の仏である大聖人のご化導に従う人は、稲や果実と同じく、下種を成長させ、成仏の命に変わります。「信」を下種とし、「南無妙法蓮華経の口唱」を調熟とし、「本尊への冥合(みょうごう)」を「度脱」とするのです。私たちは唱題を専らにしつつ、三宝尊への報恩と、衆生救済のための折伏に励むことによって、知らず知らず心田の仏種が着々と実り、白米にまで成長するのです。絶対の信のもと精進してまいりましょう。

### ② 創価学会に籍を置くみなさまへ

創価学会第二代会長である戸田城聖氏は、終戦後、御書十大部の講義録の発行を発願し、第59世御法主であられた日亨上人に様々なご指南を頂いたうえ著述に専心し、同上人の監修のもと、昭和27年12月、第一巻である「立正安国論講義」を発行しました。その論述中、戸田氏は「三大秘法とは題目・本尊・戒壇の三つであり、三大秘法の南無妙法蓮華経とは弘安二年十月十二日御圖顯の一閻浮提總與の大曼荼羅の事である。(今富士大石寺奉安殿に有り)」(32頁)と述べ、さらに「この大曼荼羅即ち我等が主師親と仰ぐべき本尊」(同頁)に、日本国中の民が恭敬できず、謗法まみれにあることから、諸天がこの国を去る道理を述べています。今の創価学会がここに示す「謗法の主体」となっていることを知るべきです。

### ③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

京都や奈良の歴史的に名高い神社仏閣は、年月を経た建物や、静かな庭園のたたずまいとして魅力のあるものといえます。しかし考えてみますと、宗教本来の役割は物見遊山や観光のためではなく、民衆を救うことにあります。昔の川柳に「大仏は 見るものにして尊まず」という一句が、その実態を物語っています。古都の神社仏閣は、教義の善悪や浅深を論ずる前に、宗教本来の目的を失った空虚なるものであり、正法流布の妨げとなっているのです。宗教の正邪を判断できない人は、開運・交通安全・商売繁盛・厄除けなどの宣伝文句に誘われ、人生の苦悩の根源となる悪法に近づき、そして有害の中に染まっているのです。正しい本尊と優れた教法を知るため、日蓮正宗法遍寺においでください。

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年8月1日

日蓮正宗 年間方針

## 勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の团结

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料